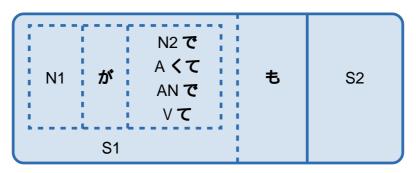
文-58 ても



A:A₩

基本

例 文

① 子供でも、同じ料金を払わなければなりません。

② 夜遅くても、起きていますから、電話してください。

③ 野菜が嫌いでも、食べたほうがいいですよ。

4 たとえ雨が降っても、花火大会は中止しません。

⑤ A: 日本は地震が多いですね。

たてもの じ しん ま だいじょうぶ B:ええ。でも、この建物は地震が起こっても大丈夫ですよ。

⑥ 日本へ帰っても、この町のことを忘れないでください。

⑦ 開店時間の10時になっても、店が開きません。変ですね。

(すり の ねっ さ(すり の ねっ さ(すり の ねっ さ(すり の な) かったんですが・・・。

B: それじゃ、病院へ行ったほうがいいですよ。

解説

あらわ か ていてき じょうけん はん の つか A. S1で表される仮定的な条件に反することを述べるときに使う。(例文①~⑥)

B. すでに成立しているS1から予想されないことが起こったことを述べるときに使う。

(例文⑦~⑨)

C. A. の場合、「たとえ」をいっしょに使うことができる。(例文④)

先生へ

ふた いじょう じょうけん の 二つ以上の条件を述べることができる。

が のお皿は、ぶつけても、落としても、割れません。

「ても」と「が(接続)」(p.72)の違い。

	S1てもS2	S1がS2
S1が話し手の仮定したこと		×
S1 が実際にあったこと、したこと		

「たら」文が表す意味との関係に注意すること。

例 町の半分以上の人が反対したら、工事を中止します。 まち はんぶん いじょう ひと はんたい こうじ ちゅうし 町の半分以上の人が反対しても、工事を中止しません。

A. の用法から先に練習したほうが理解しやすい。

「のに」(p.242) との用法の違いに注意すること。

【関連項目】	1	【「れんしゅう編」の練習】		
活-01	Vて形	15-3	ここはどうですか	
助 -16	が(接続)			
助 -32	のに			
文-57	たら			